

2023年2月15日(水)第三水曜祈祷会

創世記18章16～33節

『主の前に立つ』

■創世記18章1～15節 『主の定める時に』 *主の時…主が定め、主だけがご存知の時。

- ①主は三人の人として、アブラハムの前に現れた。思いがけない時に、思いがけない姿で。
- ②アブラハムは御使いだと知らずに、三人の旅人に十分なもてなしをした(ヘブル13:2)。
- ③旅人はサラに「来年の今頃…男の子が生まれる」と語った。主にとって不可能なことはない。
- ④サラはまず心の中で笑ってしまった自分の不信仰を認めなければならなかった。

■創世記18章16～33節 『主の前に立つ』

1. 主に選ばれたアブラハム(18章16～21節)

- ①主はなぜ自分がしようとしていることを、アブラハムに隠しておくかどうかを考えたのですか。
→
- ②主はアブラハムのことをどのように思っていますか(イザヤ41:8)
→
- ③主はなぜゾムとゴモラの裁きについて、アブラハムに知らせたのですか。
→

2. とりなし祈るアブラハム(18章22～33節) *「主の前に立つ」…神と人々の間に立つこと

- ①アブラハムはなぜ主の前に立っていたのですか(22節)。
→
- ②アブラハムは主に近づいて、まず何を訴えましたか(23、25節)。
→
- ③アブラハムは何を根拠として、主に訴えましたか(24節)
→
- ④アブラハムは主に向かってどのような態度で祈っていますか(25節)。
→
- ⑤アブラハムの必死の訴えに対して、主はどのように答えていますか。
→
- ⑥主と語り終えたアブラハムはどんな思いで自分の家へ帰って行きましたか。
→

【適用と分かち合い】

- ①主は私たちのことをどのように思っておられますか(ヨハネ15:14)
- ②主はなぜ私たちに世の終わりについて告げられるのですか(I テモテ2:4、II ペテロ3:9)
- ③主は救われた私たちに何を期待されていますか(エゼキエル22:、30、II ペテロ2:9)
- ④主は今も生きておられ、私たちのために何をしておられますか(ローマ8:34、ヘブル7:25)